

平成20年度食に関する指導の全体計画

生徒の実態

- ・偏食傾向の生徒がみられる。
- ・マナーや感謝の心が定着不足である。
- ・朝食を欠食する生徒がいる。
- ・食生活への関心に個人差がある。
- ・地域の農産物や料理への関心が低い。

教育目標

学びは力なり 学びは希望なり 学びは喜ばなり

人間尊重の精神に立ち、徳・知・体の基礎・基本をしっかりと身に付け、豊かな人間性と主体的に考え判断し行動する能力を備えた生徒の育成を図る。

家庭・地域の実態

- ・教育への関心が高い。
- ・学校行事に対して協力的。
- ・7割が三世同居。共働きが多い。
- ・外食、中食の利用あり。

食に関する指導目標

- ①食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。
- ②心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、自ら管理していく能力を身に付ける。
- ③正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について、自ら判断できる能力を身に付ける。
- ④食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心をはぐくむ。
- ⑤食生活のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける。
- ⑥各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。

幼稚園 保育所	小学校	各学年の食に関する指導の目標		
		1年	2年	3年
<ul style="list-style-type: none"> ○朝食を食べる。 ○食べ物に関心を持ち、食べることには元気のもとだということを知る。 ○食べ物への感謝の気持ちを育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝食を食べる。 ○食べ物に関心を持ち、みんなと楽しく食べることができる。 ○食べ物の働きを知り、好き嫌いをなく食べる。 ○栄養の大切さが分かり、バランスのとれた食事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日規則正しく食事をとることができる。 ○成長期に必要な栄養や食品に含まれる栄養素の種類と働きを知り、献立を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食環境と自分の食生活とのかかわりについて理解する事ができる。 ○食べ物の消化・吸収を理解できる。 ○自分の生活や将来の課題を見付け、望ましい食事のとり方や生活習慣を理解し、健康を保持増進しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中で食事が果たす役割や健康とのかかわりを理解する。 ○一日分の献立をふまえ、簡単な日常食の調理ができる。 ○食文化や歴史、郷土の産物と自分の生活との関連を知り、食品の生産、流通、消費について理解できる。

		4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
特別活動	○学級活動 及び 給食の時間	1年	○楽しい給食の時間の過ごし方を考えよう ◎1食分の献立を立ててみよう ●清潔な食事環境をつくろう				○バランスのとれた食事の仕方を身に付けよう ◎自分たちの作成した献立を給食で食べてみよう ●三食の必要性を知ろう				○成長期の食事を考えよう ●感謝の心をもとう ●食事マナーを身に付けよう		
	◎食に関する指導 ●給食指導	2年	○楽しい給食の時間の過ごし方を考えよう ●清潔な食事環境をつくろう				○朝食の大切さを知ろう ◎給食が体の中でどうなるか考えよう ●三食の必要性を知ろう				○運動と栄養の関係について考えよう ●食事マナーを身に付けよう ●感謝の心をもとう		
		3年	○中体連に向けての食事のとり方を知ろう ●清潔な食事環境をつくろう				○自分の一日の食事内容を見直そう ●三食の必要性を知ろう ◎間食、夜食について				○生涯の健康について考えよう ●食事マナーを身に付けよう ◎バランスのよい弁当とは		
	一斉指導	よくかんで食べよう					朝食を食べよう					感謝して食べよう	
	学校行事	・歓迎遠足 ・定期健康診断 ・体育大会 ・食育月間 ・中体連					・職場体験 ・米野中祭 ・駅伝大会					・学校給食週間 ・修学旅行	
	給食委員会活動	・配膳の仕方 ・歓迎給食 ・部活動給食 ・配膳コンクール ・アンケート調査					・配膳コンクール・アンケート調査報告 ・生徒集会 ・残食調査					・給食集会 ・給食週間 ・お別れ給食・残乳調査	

		1年	2年	3年
教科との関連	社会	弥生：稲作の広がり、鎌倉の農業の発展・室町期の農業技術の進歩	大規模な農業、中国の農業変化する生活、日本の農業	食生活の変化、共に生きる、地球環境の変化、人口・食料問題
	理科	身近な生物の観察 植物のからだのつくりとはたらき	生命を維持するはたらき	細胞のつくりとからだの成長 生物の生活とつながり
	技術・家庭 (家庭分野)	わたしたちの食生活 わたしたちの食品の選択と調理 わたしたちのより豊かな食生活	選択家庭科（とちこ豆）	選択家庭科（金柑の甘煮） 幼児のおやつ
	保健体育 (保健分野)	心身の発達と心の健康		健康な生活と病気の予防
道徳	礼儀・適切な言動（おはよう） 愛国心（日本人であることの自覚）	望ましい生活習慣（ばなしの女王）	郷土への思い（思い出箱） 日本人の心（日本の盆）	
総合的な学習の時間	集団宿泊訓練	職場体験活動・農業体験活動	福祉体験活動	
家庭・地域との連携の方針	校区の小学校と連携し食育推進委員会を設け、地域の課題解決のために調査・協議・講話・試食会などを実施し、児童・生徒・保護者の意識の向上を図る。（テーマは『朝食』） 教科等で地域の人材を活用し、さまざまな知識や知恵を生徒たちに教えてもらい、交流を図る。			
地場産物活用方針	地場産物を取り入れることによって、安全・安心な食材が活用できる。生産者の思いや顔を知ることによって感謝の心を育てることができる。また、地域のさまざまな産物、施設の紹介もでき、郷土への関心を高められる。			
個別相談指導方針	アレルギーや肥満、痩身、偏食など、食に関して配慮の必要な生徒や保護者へ、実態に応じた指導を実施し、望ましい生活習慣の確立を図る。（定期教育相談：担任等）（健康相談：養護・栄養教諭）（給食時：全職員）			